

- ◆企画名 他大学交流会
日程 平成 25 年 12 月 14 日 (土)
場所 京都産業大学 4 号館、リブレ (懇親会)
参加者数 6 名 (ピア・サポータ 4 名、職員 1 名、学生支援室 TA1 名)
目的

本企画では、京都産業大学が他大学との交流から積極的な活動などを知り、今後の活動に活かすという目的で企画した他大学交流会に参加した。関西大学も参加することで、他大学の理念や活動内容を知って今後の企画立案における視野の広さを身につけることが目的であった。

内 容

<内容>

・当日のタイムスケジュール

14:00～14:05 挨拶 (京都産業大学教学センター長)

14:05～14:10 挨拶 (京都産業大学ピアサポーター)

14:10～14:40 アイスブレイク

14:45～16:00 各大学の活動報告 (京都産業大学、京都光華女子大学、関西大学)

16:05～16:10 休憩

16:15～17:05 各大学の活動報告 (京都外国語大学、追手門学院大学)

17:10～17:30 グループトーク & 発表

17:40～18:30 懇親会

18:30 解散

・グループトーク

予め京都産業大学によって、参加者は 1 グループ 4～5 名程度にグループ分けされていた。そのグループごとに「ピア・サポーター自身のモチベーション維持について」というテーマに基づいて、各大学での対策案を共有し、話し合った。

主な案としては「普段から食事に行く等を通して交流を深め、実際の活動に参加しやすくする」「仕事を与えることで帰属意識を深める」「情報共有をきちんとする」といった解決案が多かったため、今後の活動に活かしていきたい。

各グループの人数が 5 名前後であったため、全員が容易に発言しやすかった点が良かった。

感 想

・普段活動している関西大学ピア・コミュニティでは、それぞれのコミュニティが独自の理念に基づいて活動しているが、一定の共通意識を持っているため、同様の考え方に偏ってしまいがちである。今回の他大学交流会では、本学では行っていないが参考にし得る活動を多く知ることが出来た。

・本学の活動報告については、関西大学ピア・コミュニティの理念や企画の実施の流れ、各コミュニティの活動などについて発表を行った。発表後の質疑応答では多くの質問を頂き、また、発表終了後にはパワーポイントのデータを頂きたいとの複数の依頼を頂いたため、一定の評価を得られたと考えられる。

改善点

追手門学院大学は参考資料を一人一部ずつ用意しており、活動内容が目で見てわかりやすかったため、次回は本学もリーフレットや運営本部が広報企画で作成した資料などを配付することで、それぞれのコミュニティや自分たちの活動内容を他大学により強く印象づけられるようにしたい。